

## 『 ヤマトンチュを案内して島訪問の旅 』

NPO 法人徳之島「夢」振興会議 賛助会員

村岡 吉宗（東京在住 井之川出身）

同郷の友人米川忠夫君（第46代横綱 朝潮太郎の実弟）とは、以前から帰省の際には一緒に帰ろうと話しかけていたいたので、暑さ寒さに余り関係のない四月に四泊五日の予定で、都内在住のヤマトンチュの友人を二名を連れて故郷徳之島を訪問した。

訪問の目的は、故郷の空気を吸いたかったこと、ご無沙汰している従弟、友人、知人らに会いたかったこと、併せて「夢」振興会議の事業でフラワーロード活動の一環として植樹をすること、更には島の山、川、海などの自然を見学しながら全島一周をして名所廻りをする。ヤマトンチュの二名は、自分たちの植えた花を見に数年後には必ず島に行くと張り切っていました。また、島の人の情の深さにも大いに感動していました。

故郷の友人の富澤洋夫君、徳之島町町議会議員の大沢章宏さんらにもお世話になりました。何よりも頂晃一郎さんには、花木の用意から植樹場所の選定、植樹作業用のスコップ、手袋等一切の準備をしていただきました。

植樹場所は母校神之嶺小学校の校庭内の壁際の片隅を確保して頂いた。また、当日は、入学式の日であった為、徳之島町長代理、町議、井之川郵便局長さんらと共に式にも出席することが出来ました。終了後には、植樹した場所の前で新入生の皆さんと保護者、校長先生を始め教職員の方々と共に記念写真を撮ることができました。

（下の写真）その後、墓地跡に建立した「記念碑」などの見学、晃一郎さん宅に招かれ、昼食のご馳走を囲みながら歓談をしました。

この度の訪問に当たっては、晃一郎さんには、徳之島空港への出迎えから全島一周まで通して三日間も私たちの一切の世話をしてくださって本当にありがたかった。紙面を借りて心から厚くお礼を申し上げます。

久方振りに帰った故郷の思い出は、いつまでも忘れることはないし、微力ながらも島の為に役に立ちたいと思った旅でした。



帰省記念植樹(村岡吉宗氏、米川忠夫氏、奥田敏夫氏、宮坂勲氏)



村岡吉宗氏、米川忠夫氏、奥田敏夫氏、宮坂勲氏(神小にて)



神之嶺小学校入学式出席(教職員及び保護者とともに)



神之嶺小学校花園

# 『 元気いっぱい花いっぱい 』

NPO 法人徳之島「夢」振興会議 正会員

畑山 育男（下久志 在住）

下久志はつらつ会(平成 26 年 5 月、「高齢者クラブ」から改称した。)は、その名のとおり、元気いっぱい、徳之島花いっぱい運動に頑張っています。

会員は、現在約 60 人ですが、活動している方は 30 人前後で、かつ還暦直後の若い？加入者が少なく、悩みの種です。会の目的は、「会員相互の親睦、健康増進、高齢者福祉の推進及び社会奉仕に寄与することにより、住みよい地域社会の形成に資すること。」で、事業は、

- 会員相互の親睦に関する事。
- 会員の健康増進に関する事。
- 環境美化、防犯、防災、交通安全等に関する事。
- 地区内諸団体との連絡協調に関する事。
- その他高齢者福祉に関する事。

です。

この事業の中で、特に力を入れているのは、環境整備・美化活動の一環である「ふるさとの道サポート推進事業」です。これは、鹿児島県の事業で、県道「伊仙亀津徳之島空港線」の道路沿いの一部区間について指定を受け、花壇として整備しています。具体的には、下久志集落の井之川寄り、「赤田統(あーだんとう)」から「三寿利(みじより)」に至る約 120 メートルの間と池間寄りの志行橋脇の約 20 メートルの区域です。

活動予定回数は、月 1 回程度としていますが、

- 春季や秋季には回数を増やすなどペースを上げる
- 夏季は回数を減らし、その上活動時間を早朝や夕刻の短時間とするなど、健康管理に配慮するとともに、長続きするよう工夫しています。

植栽する花木は、

- 島のイメージにかなう
- 潮風・暴風に強い
- 長期にわたって花を咲かせる
- 外来種や交通の妨げになりやすい物は避けるなど、会員が意見を出し合い、また、自宅で栽培中の物を持ち寄ったりしております。

この会では、会員の連帯感や一体感の醸成、交通事故防止等を図るため、蛍光グリーン色のパトロールベスト(前面左に横書きで「防犯」、背面に横書きで「下久志はつらつ会」と記載)を製作・着用し、種々の活動を実施しています。

今後とも、環境整備・美化活動を通して「NPO 法人 徳之島『夢』振興会議」の推進する「徳之島花いっぱい運動」に寄与していきたいと思っています。

最近の「ふるさとの道サポート推進事業」の状況は、次のとおりです。

平成 27 年 2 月 23 日に志行橋脇と三寿利花壇内外の除草・耕耘、サンタンカ、ハイビスカス、ガザニア等の植え付けを行いました。

この写真は、志行橋脇花壇の状況です。



平成27年5月23日に三寿利花壇で、黄金蘇鉄7本の植え付けを行いました。  
この蘇鉄は、川上 修氏の寄贈によるものです。  
この写真は、三寿利脇花壇の状況です。



## 『 夢を見て 夢を追い 夢を掴みとる人になれ 』

NPO 法人徳之島「夢」振興会議 正会員  
利 元一郎（轟木出身）

我が郷土、徳之島で生を得た大事業家（故）保直次氏（井之川出身）の言葉である。

小生が現職時代、氏の経営している城山観光ホテルで、本人の生い立ちから、夢を追い求め続ける信念を、講演で耳にし、感銘を受けた一人です。

夢を持つことは、何よりも素晴らしいことです。又、「自分の人生が素晴らしいものかは、死んで行く時しかわかりません」が・・・一日一日素晴らしい生き方を、積んでいくことは出来るのです。

徳之島に10年計画で100万本の花木を植えて、「フラワーアイランドにしよう」と云う思い立ちも素晴らしいことです。その夢に惚れて、小生も徳之島「夢」振興会議に参加しました。

「夢」振興会議が産声を上げて、10年以上が過ぎました。3年前の平成24年10月に10周年を記念して、故郷（徳之島）で「10周年の集い」が開催され、支庁（県）や3町の幹部の皆さん、観光協会、各地区のフラワー運動に力んでいる方々が参加して、盛大にシンポジウム、パネルディスカッションを行って、その後も脈々と意気（？）づいて居ります。

台風銀座と云われ、毎年奄美群島を通り抜ける、台風にも負けず育ち行く「花木」は人に例えると、今年（平成27年）で中学生になりました。・・・13年経過で。

!! これからです !!

一年一年、歳を重ねることで花木も人も同じように成長し、いつかは立派な人や木に育つのです。

挫折することなく、がんばりましょう。幸いにして、奄美、徳之島、沖縄が「世界自然遺産」登録への取組も推進されて居ります。それが実現すると、益々我々の果たす役割、夢は重要になりました。

徳之島「夢」振興会議の「憲章」にある夢も、夢で終わることはないと信じて居ります。

島民一人一人が、結いの心を持ち続ける限り夢は広がるのです。

「夢」振賛歌「花の徳之島」の唄にもあるように、「徳」のある徳之島を日本一の花の島で飾りましょう。知恵ある者は知恵を出し、力ある者は力を出して、共に汗してがんばりましょう。



この写真は、今年4月13日（月）雨天の中で、大原／団地の井之川岳に通じる、道路端に植樹した桜の木です。道路沿いに植樹場所を快く提供して頂いた森山区長さんのご協力大なり。

将来、!! 花見が出来るように !! なればいいですネ・・・。

2015年8月31日記

# 『 島で古希の記念植樹をしてきました 』

さいたま市在住 亀澤 健夫（亀津出身）

我々昭和20年生まれ、関東在住の4人組は4月中旬久しぶりに平土野港に上陸しました。前日名瀬、古仁屋など見物しながらの、波おだやかな船旅でした。船から見た徳之島は適当な高さの山が連なって緑豊かな丘陵を形造っている。大島や加計呂麻島の山の多い道をドライブしてきて、徳之島の平らかなことがよく感じられます。亀津までの道すがらみんな舗装されて、山が畑になり、奥地まで開発されて島中がどこにでも行けるようになっているのにビックリです。

さて、今回の帰省の目的は中学の島在住プチ同窓会に参加することと、もう一つは「夢」振の会員でも有る河島良政君の提唱で来年の古希を記念して、大原において植樹することになりました。名峰井之川岳に続く大原のプロムナードに桜を植えて、それぞれ4人の立て看板を設置しました。これが何年後かには立派に成長して花を咲かせ、桜並木となって花見など出来ればなどと想像するのも楽しい。植樹と云えば、今から10何年か前、中学の還暦同窓会時全員で、与名間のサンセットリゾートにて記念植樹したので、今回その後を見に行きました。ちゃんとみんなが手植えしたブーゲンビリアが赤い実をつけて背高く成長していた。「亀津中学校第4回卒業記念」の看板を支配人が立ててくれてありました。感謝です。同窓会と共に、今回は思いがけない記念植樹が出来て、徳之島中が花や木々に囲まれている、いつまでも美しい故郷であることを祈っています。

平成27年9月記

重久 正光・加川 勝次・河島 良政・亀澤 健夫

## あなたも 故郷に マイ、さくらを

私たち徳之島「夢」振興会は長年、故郷を花で埋め尽くし「花の徳之島。

フラワーアイランド」にすべく活動しています。

あなたも、オンリーワンの記念植樹で美しい島づくり、田舎へ帰る楽しみ

を作ってみませんか？



徳之島「夢」振興会議

豊島区西池袋3-25-15 IBビル2F

TEL03-5953-5621 090-1128-7739「岡村」